

## 第 124 回若手懇談会アンケート集計結果

アンケートのご協力ありがとうございました。以下に今回のアンケート結果を纏めましたので今後の参考にさせて頂きたいと思えます。

回答数：22 枚

質問 1 あなたの会社での担当業務は何ですか？

- ①製造 ②研究・開発 ③営業 ④その他

・集計結果

- ① 1名 ②20名 ③0名 ④0名 無回答 1名

今回の参加者は主に、研究・開発担当の方でした。

質問 2 あなたの勤続年数は何年ですか？

- ①( )年目(年数をご記入ください) ②その他(学生の方は学年等をご記入ください)

・集計結果

1～3年目 : 3名 4～6年目 : 8名

7～9年目 : 3名 10年以上 : 7名

学生の方 : 0名 無回答 : 1名

ある程度経験を積まれている方が多かったようです。

質問 3 この懇談会へ参加しようと思ったきっかけは何ですか？(複数回答可)

- ①業務と関係があるから ②上司の勧めで ③他社との交流 ④毎回参加しているから  
⑤興味のある講演内容だから ⑥その他(ご記入ください)( )

・集計結果

- ① 2名 ②1名 ③2名 ④1名 ⑤5名 ⑥役員だから 15名

役員外では、講演内容に興味があつてご参加された方が多かったようです。

質問 4 この懇談会への参加回数は何回目くらいですか？

- ①初めて ②2～4回目 ③5回以上

・集計結果

- ① 4名 ②7名 ③9名 無回答 2名

5回以上参加されている方が最も多かったです。

質問 5 講演についてうかがいます。

(5-1) 講演数についてどうでしたか？

- ①多い ②ちょうど良い ③少ない

・集計結果

- ① 0名 ②21名 ③0名 無回答 1名

(5-2)講演の時間についてお聞かせ下さい。

- ①長い ②ちょうど良い ③短い

・集計結果

- ① 0名 ②21名 ③0名 無回答 1名

(5-3)個々の講演の内容について、事前の関心の高さ、分り易さ、レベルの高さ、新知識取得の度合い、今後の参考度合いについて、どのように感じたかお聞かせ下さい。

(下の表の該当欄に○印でチェックをお願いします。)

・集計結果

「高・優・多・大」= 5 point、「中・普」=3 point、「低・難・低・小」=1 point で計算し、point の平均を 100 点換算すると下記の表の通り。

事前の関心の高さ	分り易さ	内容レベルの高さ	新知識取得の度合い	今後の参考の度合い
81	78	78	89	68

(5-4)講演会全体としての満足度はいかがでしたか？(その理由もお書き下さい)

- ①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

→ その理由( )

・集計結果

- ① 8名 ②14名 ③0名 ④0名 ⑤0名 無回答 0名

頂いたコメント(具体的意見のみ抽出・重複は除外)

研究の流れも含めて話を聞くことが出来て大変参考になった。(①)

分野が違う普段聞けない内容を聞くことが出来て良かった。(②)

全体的に満足度は高かったようです。

質問6 今後、若手懇談会で聴いてみたいと思う講演分野に○印を付けて下さい。

また、各分野について関連するもので具体的に聴いてみたい内容があれば、ご記入下さい。

1. ガラス製造技術関連 (熔融 欠点 炉材)
2. 環境関連 (省エネ リサイクル)
3. 自動車 建築用ガラス関連
4. 情報・電子用ガラス関連
  - 4-1 光関連 [通信 デバイス]
  - 4-2 リソグラフィー [レンズ材 フォトマスク]
  - 4-3 ストレージ [HDD 光ディスク]
  - 4-4 ディ스플레이用ガラス
5. 瓶・管ガラス関連
6. 上記以外に聴きたい講演がある

・集計結果

選択肢	1	2	3	4(計)	4-1	4-2	4-3	4-4	5	6
回答数	11名	1名	3名	8名	3名	3名	2名	0名	3名	1名

< 具体的希望 >

- ・放射性廃棄物のガラス固化(1) ・構造解析(6) ・電気溶融炉、溶融方式(1)
- ・LED ライト(3) ・強化ガラス(3) ・ガラス加工関連(1) ・管ガラスの切断(5)
- ・炉材の種類と特徴 (AGC セラミック) (1) ・リソグラフィーに求められる特性(4-4)
- ・ガラスの製造欠陥(1) ・製造技術開発の歴史(1) ・イメージセンサーフィルター(4-1)

ガラス製造技術関連、情報・電子用ガラス関連の希望が最も多かったですが、非常に多様なご意見を頂きました。

(アンケート担当雑感)

第122回と同様に、分かりやすく、新知識習得の度合いも高かったものの、今後の参考の度合いは低めと答えた方が多かったです。直接的に業務と関連が無い場合でも、多様な視点からヒントを得るための助けになったのではないのでしょうか。